

8010 わが国が産業用ロボットの先進国であることは・・・

わが国が産業用ロボットの最先進国であることは、改めていうまでもない。簡易型から高級型まで、設置台数は約10万台。

大企業だけでなく、中小企業も導入には前向きだ。ロボットは休まず、文句をいわず、正確に仕事をしてくれる。省力化、品質安定、コスト引き下げの効果が大きいからである。

朝日新聞「今日の問題」

[許容訳例]

Needless to say, Japan is the most advanced country in the field of industrial robots. From simple to sophisticated, the number of models installed totals about one hundred thousand.

Not only large, but smaller enterprises are positively interested in introducing robots, because they work accurately, neither taking rests nor complaining, and have a great effect in labor-saving, in stabilizing quality, and in costs reduction.

[翻訳例]

Japan, as is common knowledge by now, is the most advanced nation in the field of industrial robots. The total number of units installed, from the simplest models to the most sophisticated, is around one hundred thousand.

Not only large enterprises but small firms also show a positive interest in their introduction. Robots do their work accurately without ever taking a rest or complaining. And they are highly effective in promoting labor-saving, in ensuring stable quality, and in reducing costs.

■わが国が産業用ロボットの最先進国であることは、改めていうまでもない。(8010)

★「産業用ロボット」は industrial robots しかないと思います。

● [の]

「産業用ロボットの最先進国」の [の] は「(いろいろなロボットの中で) 産業用ロボットの分野における [おいて]」という意味を端折った [の] ですから、それを表面に出して in the field of…とか in the realm of…; in the sphere of…が使えます。ただし、後者の二つはちょっと抽象的な場合（たとえば, philosophy とか religion とか）に使いますから、ここでは in the field of…が一番いいです。

★「最先進国」は the most advanced nation[country]でしょう。

★「改めていうまでもない」の「改めて」は「いうまでもない」を強調するために加えられた言葉と考えることができますから、問題は「いうまでもない」です。辞書で引くと needless to say が出ていますが、ここでは使えません。この表現には「当たり前 [当然] のことである」という意味が入っているからです。たとえば, Needless to say, you will be paid compensation./ Needless to say, he won the race.とか, あるいは, 日本語の「そういうときに限って・・・する; 案の定・・・である」(as was to be expected; of course)と訳せるような場合, たとえば, Needless to say, it rained when I left my car windows open. (車の窓を開

けっ放しにしている時に限って雨が降った) のように使います。したがって, Needless to say, Japan is the most advanced country…とすると, 「日本が非常に優秀な国だから, …の最先進国になるのも当然だ」というニュアンスになると思います。ここでは as is common knowledge by now (もう衆知の通り) とか, こういう場合によく使われる As scarcely needs pointing out という表現を使うといいと思われます。

■簡易型から高級型まで, 設置台数は約10万台。(8010)

★「簡易型」の「簡易」は simple でいいでしょう。

★「高級型」の「高級」ですが, ここは「機械」について言うので sophisticated がいいでしょう。これは「高度の・高性能の・素人には簡単に理解できない[扱えない] ような複雑な」という意味です。なお, high は simple とは全然範疇の異なる言葉ですから, ここでは組み合わせることは出来ません。

●文技巧について

「簡易型から高級型まで」は from simple to sophisticated, …でもいいですが, from the simplest to the most sophisticated の方が非常に英語らしい言い方でいいと思います。なお, これを前置しても間違いではありませんが, 避けるべきです。というのは, 後まで読まないで, 何か simple なのか, sophisticated なのかわからないからです。こういう場合は, 原則として名詞を前に出して, コンマで囲むようにするのが無難です。

★「設置」ですが, 「機械・器具を設置する」には set ではなく install (a machine; a computer; conditioning, etc.) を使った方がいいと思います。この言葉は It was so hot last year that I had air conditioning installed. のように日常会話でもよく使います。

●隠れ連体節 (設置台数)

「(設置) 台数」は「設置された (型の) 台数」ということですから「連体修飾節 (設置された)」+「不定代名詞的体言 ((型の) 台数)」ですから, 英語では「名詞 (the number of units) + 関係詞節 (which are) installed)」ですが, ここは受動態なので (which are) は省略出来ますから the number of units installed です。なお, こういう場合の「設置台数」は「総設置台数」をいうと考えるのが普通なので the total number of …としてもいいです。それから「型」は models でもいいと思いますが, モデル・チェンジというような場合のモデル (型) という意味もありますから, ここでは避けた方がいいです。

★「約」は about; around; approximately; some などを使うことができます。

★「10万台 (である・を算える) は is (amounts to) one hundred thousand です。one の代わりに a も使えますが, ここは数字を強調したいようなので one の方がいいでしょう。なお, is の代わりに amounts to を使うなら, total の意味が含まれるので, the number of …でもいいです。

■大企業だけでなく, 中小企業も導入には前向きだ。(8010)

★「大企業」は, 普通 large enterprises [corporations] です。

★「中小企業」は, 新聞などでは small and medium-sized enterprises [firms] と訳しています

が、この日本文の表現意図は正確な細かい分類ではなく、言葉遣いの成り行きで言ったのですから、英語では large と smaller で処理してもいいと思います。なお、smaller ではなく small でもいいのですが、smaller の方が範囲が広くなり、単に「小」だけでなく「中」も含むことになります。

●文技巧について

「・・・だけではなく・・・も」(not only...but also...)も、上の from the simplest to the most sophisticated の場合と同じように、名詞をしっかり提示するようにするのが自然の英語です。つまり、not only large, but smaller enterprises[firms] also...とするのではなく not only large enterprises[firms] but smaller also...とするということです。人によっては enterprises を繰り返したり、but smaller ones also としたり、あるいは前で enterprises を使い、後ろでは but smaller firms also としたりするでしょう。

★「導入には」の「(ロボットを) 導入する」は introduce robots[them]ですが、their introduction も可能です。

★「前向きだ」は be positively interested in...でもいいですが、日本語の「前向き」という名詞に合わせると show a positive interest in...の方がいいと思います。なお、be ready to introduce...は「導入するための準備ができている」とか「導入する用意がある」という意味で、ここでは使えないと思います。

■ロボットは休まず、文句をいわず、正確に仕事をしてくれる。(8010)

★「休まず」→「休まない」は take no rests です。

★「文句をいわず」→「文句を言わない」は do not complain です。

★「正確に」は accurately です。

★「仕事をしてくれる」は do one's work (与えられた仕事をちゃんとやる) がいいでしょう。work well は、たとえば、The machine[clock] works well. (よく動く) の意味になりますから、ここでは使わない方がいいでしょう。

●「主動詞＋句」で処理

「ロボットは休まず、文句をいわず、正確に仕事をしてくれる」は、主動詞(do their work)＋句(...ing; with...; without...)で処理できる典型的な事例です。「句」のところは、まず分詞構文が可能です。..., not taking any rests or complaining です。しかし、分詞構文にするなら..., neither taking any rests nor complaining とすべきです。また taking any rests or complaining を名詞化すると with を使うことが出来ます。with no rests and no complaints です。また、否定語が含まれているので without を使うことが出来ます。..., without taking any rests or complaining/ ..., without rests or complaints です。

■省力化、品質安定、コスト引き下げの効果が大きいからである。(8010)

●隠れ連体修飾節(省力化・品質安定・コスト引き下げ)と英語の簡略化技法

連体修飾節を多用する日本語では、その簡略化も多用されます。これは英語におけるハイフンを使っての簡略化・品詞変化(たとえば、look good→good-looking; safe in fail→fail-safe,

etc.)と同じように言語固有の統語法です。「省力化」は「労働力を省くことを促進すること」であり、「品質安定」は「品質を安定させること」であり、「コスト引き下げ」は「コストを引き下げること」です。したがって、いずれも「連体修飾節＋不定代名詞的体言」→「代名詞＋（関係詞節）」で処理することができるのですが、[連結辞]の関係で「名詞化(…ing; to-Inf.など)」で簡略化ことも可能です。たとえば、「省力化」は辞書には save[reduce] labor と出ていますが、ここでは「助長する・促進する」を加えて promoting labor-saving[labor saving]とすることが出来ます。同じように「品質安定」は ensuring stable quality です。なお「安定する」に stabilize を使うと stabilizing quality; the stabilization of quality という表現も可能ですが、stabilize というのは「何か不安定な状態にあるものを安定させる」という意味なので、ここでは適切ではないように思われます。「コスト引き下げ」は reducing costs[cost reduction]です。

★「効果が大きい」は have a great effect in (doing something)か are very[highly; most] effective in…でしょう。似た表現に have a great effect on…がありますが、これは「・・・に大きな影響を及ぼす」という意味です。

★「からである」は文頭に because を置けばいいし、なくても意味は通じます。